



住民が一堂に集う防災運動会

高知県大月町女性防火クラブ連絡協議会

1 大月町女性防火クラブ連絡協議会

高知県幡多郡大月町は、四国西南端に位置しており、人口5,707人の農業と漁業の盛んな町です。女性防火クラブは、昭和61年4月に単独クラブが2地区に設立され、平成13年11月5日には9地区221人のクラブ員の誕生で大月町女性防火クラブ連絡協議会が再結成。現在は、11地区210人のクラブ員で構成されています。

2 高知県西南部豪雨を経験して

平成13年9月6日高知県西南部豪雨の大災害を受けた私たちは、水害の恐怖を知りました。孤立・寸断・全戸冠水の中、女性防火クラブは、炊き出しや住民の安否確認、床上浸水した住宅の家財道具の清掃活動、また地元消防団との連携の取れた行動は、被災者や高齢者の方達の励ましや支えになります。

災害の教訓を生かし女性防火クラブの充実強化を図るため、積極的な活動を実施し災害に強い町づくりを進めるためにも各地区において女性防火クラブの必要性を訴え

ました。

3 大月町女性防火クラブの主な活動

毎年恒例の事業、出初式、救急救命講習、住宅用火災警報器の啓発活動、各研修会(消防学校一日入校、震災講演・交流会・女性防火クラブ大会・震災地視察・女性防火クラブ大運動会、避難訓練)などを開催し、また、参加をして防災意識の向上に努めています。

4 女性防火クラブ大運動会

平成21年10月25日に町内の女性防火クラブ員をはじめ町民が一堂に集い、楽しみながら各種災害を想定した防災ゲームや競技を運動会形式で行うことにより、防災知識の普及啓発を図り、お互い助け合う力を養い自主防災の輪を広げ、災害に強い安全・安心な大月町を築く事を目的に防災運動会を初めて開催しました。地域住民400人の参加があり、競技種目は、担架作成・搬送ゲーム、水バケツリレーゲーム、防火防災マルバツゲーム、災害救助ゲーム、軽可搬ポンプ放水ゲーム、消火器消火ゲーム、防災障害物リレーゲーム、炊き出し訓練(おにぎり



救命講習会



担架作成・搬送ゲーム



水バケツリレーゲーム



軽可搬ポンプ放水ゲーム



消火器消火ゲーム



子どものお菓子拾い

500食)、仮装行列、子どものお菓子拾いです。

その中で水バケツリレー、担架作成・搬送、軽可搬ポンプ放水などを競技に取り入れることにより災害時における活動技術を身に付けることができ、また、防火・防災クイズを実施して南海地震についての知識を身につけ、かつ発生時における対応手順について確認しました。

日本防火・防災協会作成の住宅火災警報器展示パネルを使用し、住警器の説明とチラシを配布して警報器の普及促進や救急フェアでは、救急資器材の展示やクラブ員及び町民に対するAEDの操作を含む救急救命講習も実施しました。

この運動会の開催にあたり何度も実行委員会を開き、競技内容を考えたり案内状やポスターづくり、景品選び等全て事務局とクラブ員とで協議を重ねて実行された運動

会でした。

誰一人怪我や事故もなく楽しく防火防災意識の普及啓発ができ、女性防火クラブの活動に多くの住民が理解を示してくれるようになり今では、地域になくてならない一つの団体に位置付けられています。

5 おわりに

高知県は、南海トラフ巨大地震対策に全力を挙げて取り組んでおります。私たちが住む大月町でも10m以上の津波が想定されています。過去に起きた阪神・淡路大震災や東日本大震災などの様々な教訓を活かしながら、地域住民と日頃のきめ細やかな関わりを持って、災害に強い犠牲者の出ない地域を志して今後も女性防火クラブの活動を続けていきます。